

8月1日をスタートに、町内8中学校校区で3回目の保育所、小・中学校保護者を対象に統合問題説明会を開催しました。その時、提示した4校による統合案を報告します。

また、8月下旬から9月の初旬にかけて旧町単位での統合問題懇談会を開催しました。

# 活力ある学校づくりをめざして 学校統合を進めます

周防大島町教育委員会  
☎ 78 - 2206

## これまでの経緯

第一回の保護者説明会や昨年のPTA会長を通じて実施した会員の意向調査では、多くの地域から4校案での統合を希望する意見が多く出されておりました。

そのような経緯の中で、中学校統合を耐震診断結果をふまえて教育委員会では安全性や校舎改築による経済性、教育の有効性を考慮して2校案を提示してきました。

しかし、2校案には、大島、安下庄地区を除く久賀、油田、東和、日良居地域から、通学時間とその距離が部活動や学習時間の支障となる、現状の通学路では安全性が

保てない、自地域に学校を残してほしいなどの2校案への不同意の意見が多く出されました。

## 2校案から4校案へ

このため、教育委員会議で協議を重ねた結果、保護者の理解が得られない現段階では、強引に2校案による統合を押し進めることは困難であるとの結論にいたりしました。そこで、町教委では、2校案を取り下げ、保護者や町民の意見を尊重した4校案で統合を進めたこととする最終案を固め、今回保護者に説明してまいりました。

なお、4校案による統合を進め

るにあたっては、耐震診断の結果、最も危険性が高い東和中学校舎を改築する方針を固めています。

## 4校案に対する 各地域の意見

保護者説明会の出席者からは、4校による中学校統合案について、町内7中学校校区で賛同をいただきましたが、1校区で2校案が教育効果が大きいという理由で、4校案への賛成を保留するという地区がありました。

保護者説明会で出された主な意見を掲載します。

・合併直後の今は、一挙に2校案は難しく4校が妥当であろう。